

平成 18 年度
事業報告書

自 平成 18 年 4 月 1 日
至 平成 19 年 3 月 31 日

社団法人日本ボート協会

平成 18 年度 事業報告

社団法人日本ボート協会（以下、協会）は、公益法人として国や社会の発展に資することを目的として、日本ボート界の更なる発展のため、平成 18 年度もさまざまな事業へ積極的な取組みをしてきた。

協会では様々な課題を集約統合し、中長期活動目標として JARA プロジェクト（以下、PJ）を立上げ、「人口増大」「五輪メダル獲得」「財政強化」「魅力あるボート」の 4 チームを結成して活動を開始した。

活動が先行する人口増大 PJ では、第 2 Web サイトを立上げ、広く全国のボート愛好者が自由に情報提供や意見交換ができる場を設けた。また、第 2 回ボート人口増大フォーラムを開催し、全国のボート関係者との交流と情報交換を通じて、ボート人口増大に繋がる活動を積極的に展開することを呼びかけた。第 1 回全日本マスターズの平成 20 年度開催へ向けた準備作業にも入った。

五輪メダル獲得 PJ の強化関係では、ジアンニヘッドコーチ主導のもと、3 年連続してギリシャで長期強化合宿を行い、5 月にミュンヘンで開催されたワールドカップ第 1 戦では最重点強化種目である男子軽量級ダブルスカルで 3 位入賞を果たした。12 月にはカタール・ドーハで開催された第 15 回アジア大会で男子軽量級ダブルスカルと男子舵なしフォアで金メダルを獲得、北京オリンピックに向けた選手強化は着実に歩みを進めつつある。

魅力あるボート PJ の取組みとしては、懸案であった障害者ボート協会、日本アダプティブローイング協会を協会主導で設立、日本障害者スポーツ協会への加盟も果たした。また、ボートの基本は安全との方針に沿い、全国的に安全基準を統一するため「安全基準作成ガイドライン」を作成し、都道府県協会へその指導と普及を依頼した。

財政強化 PJ では財務状況の改善を目指し、各種補助金、助成金の見直しや新たな寄付金等の財源開拓及び確保へ向けてのネットワーク構築を始動させた。

協会では今まで通りの委員会活動を基本に、新たに中長期活動テーマである 4 PJ の課題達成に向けて、各々の PJ で行動プランを作成しつつある。活動範囲の拡大に必要な人材を相応に確保する必要がある、有為な人材を求めて、より積極的な人的交流を推進した。

なお、協会定款の事業項目の委員会別分担は以下のとおりであり、その事業計画の詳細は担当委員会別事業計画に記す。

■協会定款の目的と事業ならびに担当委員会

1. ボート競技の普及振興とスポーツ精神を育成するため、その根本方針の確立
総務委員会、普及委員会
2. 全日本選手権大会および各種競漕大会の開催
競技委員会、審判委員会
3. オリンピック大会およびこれに準ずる国際競漕大会に日本を代表するクルーおよび役員を選定し、参加させること
強化委員会、国際委員会
4. ボート競技に関する諸規則の制定
審判委員会、医科学委員会、施設委員会、競技委員会、総務委員会
5. ボート競技に関する調査・研究・指導・強化ならびに普及啓発
普及委員会、強化委員会、医科学委員会、高体連委員会、総務委員会
6. 競漕艇および附属具の規格の決定と審査
医科学委員会、施設委員会
7. 各種ボート競技に関する図書の刊行
広報委員会、普及委員会
8. その他の目的を達成するため必要な事業
全委員会

■担当委員会別事業報告

総務委員会

1. 通常総会、評議員会、定例理事会、顧問・参与会、ブロック長会議、定例委員長会、各委員会等を開催し、協会の基本方針、事業計画に係わる諸事項について審議ならびに報告を行い、その承認を諮った。実施した諸会議は別紙1の通り。
2. 関係先と調整の上、各種規約の整備を行い、その承認を定例理事会に諮った。
3. 当年度の選手登録数及び団体数を集計し結果を纏めた。当年度の実績は別紙2の通り。
4. 事務局業務の合理化を推進し、関係者への対応改善に努めた。
5. 都道府県協会の開催した大会を後援した。

財務委員会

1. 公益法人会計基準を完全適用し、協会経理業務を適正に実施した。
2. 公的資金（委託金、補助金・助成金）の運用規定に従い、関連する経理業務を適正に実施した。
3. 新たな財源確保のため、検討と調査を行った。

競技委員会

1. 各種全日本選手権大会、国民体育大会ボート競技及びオックスフォード盾レガッタを主催または主管した。平成18年度主催・主管大会とその成績は別紙3の通り。
2. 選手登録・大会エントリーシステムのコンピュータ化を推進して関係者のために利便性の向上と改善に努めた。
3. 主催大会の成績をリアルタイムでホームページに掲載するようシステムアップし、結果発表の迅速化を図った。
4. 戸田ボートコースの翌年度使用日程を競技団体との調整を通じて決定した。
5. 平成20年度以降の大会日程を検討した。

施設委員会

1. 競漕規則ならびにコース規格規定に則したコース認定と全国各地で公認コース設定のための指導・助言を行った。コース認定結果は別紙4の通り。
2. 規格艇登録規定に従い申請のあった艇に対し審査、検定を行った。
3. 第61回国民体育大会、第54回全日本高等学校選手権競漕大会及び第18回全日本高等学校選抜大会の競技会場に於いて規格艇検定を実施した。
4. 日本ボート協会の主催・主管大会時に、選手、役員の実地安全確保業務を行った。
5. コース規格規定の改定案を作成した。

審判委員会

1. 協会主催・主管大会に審判長、副審判長、審判員を派遣し、審判業務を行った。
2. 審判員講習会、資格試験を実施し、全日本軽量級選手権大会（7月）、全日本新人選手権大会（11月）の会期中に審判員研修会を開催した。また、戸田ボートコースで開催した各種全日本選手権大会に於いて B 級審判員試験を実施した。これらの実施状況は別紙 5 の通り。
3. 国際ボート連盟（FISA）、アジアボート連盟（ARF）主催の国際競技大会に国際審判員を派遣し国際審判員の養成、技量向上に努めた。

国際委員会

1. 国際ボート連盟（FISA）及びアジアボート連盟（ARF）の年次総会に役員を派遣し、最新動向の把握に努めると共に、連盟及び加盟国との友好関係増進に努めた。年次総会への派遣実績は別紙 6 の通り。
2. ARF 加盟国に Japan Cup 第 28 回全日本軽量級選手権大会への参加を呼びかけ、外国チーム滞日中の便宜を図ると共に、協会役員、日本選手との親善の催しを企画・開催した。

強化委員会

1. 国内・海外に於いて数次の強化合宿を行って選手の競技力強化を図った。日本代表選手選考会を開催し、代表選手を選考した。
2. 日本代表選手団を編成して、世界選手権大会を始めとする FISA 及び ARF 主催の主要な国際競技大会へ派遣した。日本代表選手団を派遣した国際競技大会は別紙 7、その成績は別紙 8 の通り。
3. 強化責任者のもとにヘッドコーチ、コーチ、ドクター、トレーナー、マネージャー等からなるスタッフチームを編成して国内・海外合宿と遠征に帯同させ、選手の競技力強化、コンディショニング維持、体調管理の指導を通じて強化体制の充実を図った。
4. ジュニア、U-23 からシニアへ続く一貫指導体制の確立を目指し、合同強化合宿を開催するなど、新たな方式の下で競技力向上、体力・潛力の強化を図る試みを行った。また、併行して体力測定等も適宜実施した。強化合宿等の実施日程は別紙 9 の通り。

普及委員会

1. 第 19 回全国マシンローイング大会を全国 16 会場で開催した。参加者総数は 2,989 名で前年比 417 名増、平成 18 年度登録選手の 35%が参加した。大会の詳細は別紙 10 の通り。
2. 第 6 回アジアマシンローイング選手権大会（7月 22 日、23 日 マレーシア・ペナン）へ役員 2 名、男女各 4 選手を派遣し、10 種目中、7 種目で優勝の好成績を挙げた。

3. 安全意識の高揚と基本ルールの徹底を目的に安全講習会を開催した。講習会開催の状況と参加者数は別紙 11 の通り。
4. (財) 日本体育協会公認スポーツ指導者養成制度に即して、公認コーチ養成講習会、公認スポーツ指導者義務研修会を開催した。また、協会独自のセーフティアドバイザー制度を立ち上げた。講習会の開催状況と参加者数は別紙 12 の通り。
5. 中学生・高校生を中心としたジュニア対象の普及活動を促進のため、関連団体へ助成金の拠出を通じた助成活動を行った。

広報委員会

1. 協会広報誌「月刊 Rowing」を 9 刊発行した。協会の方針、行事・催し物、大会記録及び都道府県協会、全国からのトピックスなどを幅広く掲載し、ボートに係わる国外・海外の動向を伝えた。また、カラー写真ページを増やし、紙面の充実と新しい読者の開拓に努めた。
2. 協会ホームページを全面リニューアルして広報活動への利便性をアップさせると共に、都道府県協会、加盟団体との情報共有・交換、大会成績の速報体制、大会日程や行事の案内に活用を図るなど、利用者の便宜を図るために環境整備を進めた。その結果、3 月末迄のアクセス件数は 180 万件余りに達した。

医科学委員会

1. 協会主催大会へ救護医師の派遣、コーチ養成講座へ講師の派遣及び日本代表チームのメディカルサポート業務を実施した。
2. 協会主催の 3 大会で、大会内ドーピング検査を 27 選手に実施した。
3. 日本アンチドーピング機構ドーピングオフィサーの養成と日本体育協会スポーツドクターの養成に協力した。
4. 日本アダプティブローイング協会を設立し、その事業を支援した。

高体連委員会

1. 全国高体連ボート専門部と連携し、指導者講習会及び強化合宿の開催を通じてボート競技の安全、ルール・マナーの周知・徹底を基本方針とする普及活動を都道府県協会や地域スポーツ団体と連携して実施した。
2. 第 5 回全日本ジュニア選手権大会、第 54 回全日本高等学校選手権競漕大会、第 18 回全国高等学校選抜大会をジュニア、高校生選手を対象に教育活動の一環として開催した。
3. 第 5 回全日本ジュニア選手権大会の成績優秀選手を、世界ジュニア選手権大会（オランダ・アムステルダム）、アジアジュニア選手権大会（シンガポール）へ日本代表選手として派遣した。

4. JOCの競技者育成プログラムに即して、将来性を有する選手の発掘及び育成強化のため、高校生を中心とするジュニア世代を対象に数次の強化合宿を実施した。

JARA プロジェクト

1. ボート人口増大プロジェクトの一環として、大学ボート発展策研究会を10月15日、埼玉県戸田市で、第2回ボート人口増大フォーラムを3月3日、埼玉県戸田市で、翌4日、都内で開催し、具体的なテーマに絞り込んで発表と討議を行った。
2. 第2 Webサイトを立ち上げ、全国のボート関係者・愛好者に情報提供、発表、交換の場を設けた。
2. 全日本マスターズの平成20年開催に向けて、具体的な開催計画の策定に着手した。
4. 本格的レガッタを都心の外堀で東京水上倶楽部と協力して開催した。日本代表クラス、往年のオリンピック選手、高校生、観客によるレースが行われ、多くの観客を迎え成功を収めた。当日の様子はNHK全国ニュース、新聞紙上でも紹介され、「ボート人口増大」活動に貢献した。

開催会議

会議名称	開催日	開催場所
平成 17 年度通常総会	5 月 27 日 (土)	三菱養和会巢鴨スポーツセンター
平成 18 年度評議員会	10 月 1 日 (日)	兵庫県豊岡市城崎町
定例理事会	毎月 1 回	岸記念体育会館ほか
定例委員長会	毎月 1 回	岸記念体育会館ほか
顧問・参与会	4 月 15 日 (土)	三菱養和会巢鴨スポーツセンター
全国ブロック長会議	10 月 2 日 (月)	兵庫県豊岡市城崎町

会議名称	開催日	開催場所
全国普及委員会	9 月 30 日 (土)	兵庫県豊岡市城崎町
全国審判長会議	9 月 30 日 (土)	兵庫県豊岡市城崎町

会議名称	開催日	開催場所
総務委員会	毎月 1 回	岸記念体育会館ほか
財務委員会	随時開催	岸記念体育会館ほか
競技委員会	毎月 1 回	岸記念体育会館ほか
施設委員会	平成 19 年 2 月	岸記念体育会館ほか
審判委員会	平成 19 年 2 月	岸記念体育会館ほか
国際委員会	随時開催	岸記念体育会館ほか
強化委員会	毎月 1 回	岸記念体育会館ほか
普及委員会	毎月 1 回	岸記念体育会館ほか
広報委員会	毎月 1 回	岸記念体育会館ほか
医科学委員会	12 月中旬	岸記念体育会館ほか
高体連委員会	随時開催	岸記念体育会館ほか

会議名称	開催日	開催場所
JARA プロジェクトチーム会議	随時開催	岸記念体育会館ほか
戸田ボートコース運営委員会	平成 19 年 3 月	埼玉県庁

認定ボートコース

コース名称	所在地	コース 等級	レーン数	距離	認定有効期間
下諏訪町漕艇場	長野県下諏訪町	B級	6レーン	1,000m	(更新) 平成18年5月19日 ～平成23年5月18日
愛知県漕艇場 東郷コース	愛知県東郷町	B級	6レーン	1,000m	(更新) 平成18年6月23日 ～平成23年6月22日
大潟漕艇場	秋田県大潟村	B級	5レーン	1,000m	(更新) 平成18年7月21日 ～平成23年7月20日
大阪浜寺コース	大阪府高石市	B級	6レーン	1,000m	(更新) 平成18年8月26日 ～平成23年8月25日

審判事業

■審判員研修

研修会名称	開催日程・実施場所	参加人数
第 63 回審判員研修会 (併・B 級審判員認定試験)	7 月 1 日 (金) ～3 日 (日) 埼玉県・戸田ボートコース	47 名 B 級試験合格者無し
第 64 回審判員研修会 (併・B 級審判員認定試験)	10 月 20 日 (金) ～22 日 (日) 埼玉県・戸田ボートコース	53 名 B 級試験合格者 4 名
審判員講習会 C 級審判員認定試験	都道府県協会の要請により 随時実施	

■国際審判員派遣

大会日程	大会名称	開催場所	派遣人員
5 月 26 日 (金) ～28 日 (日)	2006 年ワールドカップ第 1 戦	ドイツ・ ミュンヘン	1 名
8 月 2 日 (水) ～5 日 (土)	2006 年世界ジュニア選手権大会	オランダ・ アムステルダム	2 名
8 月 20 日 (日) ～27 日 (日)	2006 年世界選手権大会	イギリス・ イートン	2 名
9 月 7 日 (木) ～10 日 (日)	2006 年世界マスターズレガッタ	アメリカ・ プリンストン	1 名
7 月 12 日 (水) ～15 日 (土)	第 12 回アジアジュニア選手権大会	シンガポール	2 名
12 月 3 日 (日) ～7 日 (木)	第 15 回アジア競技大会	カタール・ ドーハ	2 名

国際関係事業

■年次総会への派遣

会議日程	会議等の名称	開催場所	派遣人数
8月28日(月)	FISA 年次総会	イギリス・イートン	2名
12月7日(木)	ARF 年次総会	ドーハ・カタール	2名

国際大会派遣

日 程	大 会 名 称	開催場所	派遣人数	参加種目
5月26日(木) ～28日(土)	2006年ワールドカップ 第1戦	ドイツ ミュンヘン	役員 2名 男子 3名	LM1× LM2×
7月7日(金) ～9日(日)	2006年ワールドカップ 第3戦	スイス ルツェルン	役員 2名 男子 3名	LM1× LM2×
7月12日(水) ～15日(土)	第12回アジア・ジュニア 選手権大会	シンガポール	役員 4名 男子 3名 女子 3名	JM1× JM2× JW1× JW2×
7月21日(金) ～23日(日)	2006年世界U-23選手権 大会	ベルギー ハーゼウィンケル	役員 4名 男子 6名 女子 4名	LM2× LM4× LW1× LW2× W1×
8月2日(水) ～5日(土)	2006年世界ジュニア選手権 大会	オランダ アムステルダム	役員 4名 男子 6名 女子 4名	JM2× JM4× JM4×
8月20日(日) ～27日(日)	2006年世界選手権大会	イギリス イートン	役員 6名 男子 9名 女子 2名	LM1× LM2× LM2- LM4- LW2×
12月3日(日) ～7日(木)	第15回アジア競技大会	カタール ドーハ	役員 3名 男子 9名 女子 4名	LM1× LM2× M2× M4- LW1× LW2× W1×

選手強化事業

■2006年世界選手権大会・ワールドカップ・U23世界選手権代表選手

合宿種別	合宿日程・場所	参加人数
国内強化合宿	4月10日(月)～14日(金) 宮城県・白石川	男子5名 スタッフ1名
	4月17日(月)～23日(日) 埼玉県・戸田ボートコース	女子5名 スタッフ2名
	5月7日(日)～13日(土) 滋賀県・瀬田川	女子4名 スタッフ2名
	5月8日(月)～12日(金) 宮城県・白石川	男子12名 スタッフ1名
	6月26日(月)～30日(金) 埼玉県・戸田ボートコース	男子12名 女子6名 スタッフ5名
	7月10日(月)～14日(金) 埼玉県・戸田ボートコース	男子9名 女子6名 スタッフ5名
海外強化合宿	4月3日(月)～5月28日(日) ギリシャ・アテネ	男子3名 スタッフ4名
	6月26日(月)～8月15日(火) ギリシャ・イオアニナ	男子9名 女子2名 スタッフ4名

■2006年世界ジュニア選手権大会・アジアジュニア選手権大会代表選手

合宿種別	合宿日程・場所	参加人数
強化合宿	6月18日(日)～21日(水) 熊本県・斑蛇口湖ボート場	男子7名 女子7名 スタッフ4名
	7月5日(水)～19日(水) 福井県・久々子湖ボート場 富山県・富山県漕艇場	男子7名 女子7名 スタッフ4名

■2006年世界ジュニア選手権大会・アジアジュニア選手権大会代表選手

合宿種別	合宿日程・場所	参加人数
強化合宿	6月18日(日)～21日(水) 熊本県・斑蛇口湖ボート場	男子7名 女子7名 スタッフ4名
	7月5日(水)～19日(水) 福井県・久々子湖ボート場 富山県・富山県漕艇場	男子7名 女子7名 スタッフ4名

■2006年アジア競技大会代表候補選手の強化合宿

合宿種別	合宿日程・場所	参加人数
強化指定候補選手の強化合宿	9月10日(日)～16日(土) 埼玉県・戸田ボートコース	男子30名 女子15名 スタッフ8名
	10月10日(水)～14日(日) 埼玉県・戸田ボートコース	男子9名 女子4名 スタッフ5名
	11月7日(水)～25日(木) 埼玉県戸田ボートコース	男子9名 女子4名 スタッフ4名

■平成19年度強化指定候補選手の強化合宿

合宿種別	合宿日程・場所	参加人数
強化指定候補選手の強化合宿	平成19年1月19日(金)～ 1月28日(日) 埼玉県・戸田ボートコース	男子50名 女子24名 スタッフ11名
	平成19年2月18日(日)～ 2月25日(日) 埼玉県・戸田ボートコース	男子35名 女子15名 スタッフ10名
	平成19年3月17日(土)～ 3月25日(日) 埼玉県・戸田ボートコース	男子29名 女子13名 スタッフ10名

■全国高等学校選抜強化合宿

合宿名称	実施時期・場所	参加人員
第1次強化合宿	12月18日(月)～22日(金) 静岡県・浜松市天竜ボート場	男子20名 女子19名 スタッフ12名
第2次強化合宿	平成19年1月21日(日)～ 26日(金) 埼玉県・戸田ボートコース	男子6名 女子2名 スタッフ5名
第3次強化合宿	平成19年2月18日(日)～ 23日(金) 埼玉県・戸田ボートコース	男子6名 女子2名 スタッフ4名

第 19 回全国マシローイング大会

■A 大会

ブロック	開催日	会場	参加者数
北海道	平成 19 年 1 月 22 日 (日)	札幌市・中島体育センターほか	93 名
東北	平成 18 年 11 月 26 日 (日)	宮城県・東北大学川内体育館	91 名
関東	平成 19 年 1 月 14 日 (日)	埼玉県戸田市・早稲田大学艇庫	373 名
北信越	平成 18 年 12 月 17 日 (日)	福井県・敦賀工業高校体育館	324 名
東海	平成 18 年 11 月 12 日 (日)	愛知県東郷町・諸輪中学体育館	274 名
近畿	平成 19 年 1 月 21 日 (日)	神戸市・科学技術高校体育館	421 名
中国	平成 18 年 12 月 17 日 (日)	広島市・広島工業大学ボート部艇庫他	217 名
四国	平成 18 年 11 月 23 日 (水)	香川県・坂出市立体育館	233 名
九州	平成 19 年 1 月 14 日 (日)	熊本県・菊池女子高校体育館	134 名
小計			2,160 名

■B 大会

大会名	開催日	会場	参加者数
岩手	平成 18 年 9 月 23 日 (土)	岩手県・東和海洋センター	60 名
静岡	平成 18 年 11 月 5 日 (日)	浜松市佐鳴湖漕艇場ほか	194 名
長野	平成 18 年 12 月 3 日 (日)	長野県・下諏訪体育館	146 名
宮崎	平成 18 年 12 月 16 日 (土)	宮崎県新富町・西富町西体育館	84 名
岡山	平成 18 年 12 月 10 日 (日)	岡山県・岡山操山高校艇庫	112 名
大分	平成 18 年 12 月 24 日 (日)	大分県・日田市勤労福祉会館	157 名
福岡	平成 19 年 1 月 23 日 (火)	北九州市・東筑高校	69 名
小計			829 名

合計	2,989 名
----	---------

*参加者数：対前年 417 名増

安全講習会の開催

開催協会	開催日	開催場所	受講者数
青森県	5月9日(火)	田名部高校	100名
	8月9日(水)	青森中央高校	20名
岩手県	5月21日(日)	御所湖レガッタコース艇庫	246名
山形県	5月7日(日)	酒田市京田川・県立高校共用艇庫	65名
福島県	6月2日(土)	県営荻野漕艇場	85名
埼玉県	平成19年3月18日(日)	戸田公園管理事務所	147名
神奈川県	6月4日(日)	鶴見川漕艇場	10名
新潟県	4月16日(日)	新潟南高校	25名
	5月6日(土)	県営津川漕艇場艇庫	70名
	12月16日(土)	新潟南高校	25名
長野県	7月1日(土)	下諏訪町消防署	40名
静岡県	5月27日(土)	浜松市天竜ボート場	35名
	8月20日(日)	浜松市天竜ボート場	28名
	12月3日(日)	静岡産業大・磐田駅前学舎	19名
富山県	平成19年3月31日(土)	富山県漕艇場、八尾B&Gプール	60名
愛知県	5月13日(土)	愛知池管理棟	22名
岡山県	4月29日(土)	岡山市ふれあいセンター	177名
広島県	11月11日(土)	広島工業大学艇庫	40名
	平成19年1月13日(土)	広島工業大学艇庫	30名
香川県	12月17日(日)	府中湖艇庫	30名
鳥取県	4月22日(土)	県立米子艇庫	50名
宮崎県	5月14日(日)	新富町富田浜漕艇場艇庫	26名

普及関係事業

■（財）日本体育協会公認スポーツ指導者養成事業

開催日程	事業名称	開催場所	受講者数
11月22日（水） ～26日（日）	公認ボートコーチ養成講習会 専門科目	埼玉県戸田市 三菱養和会戸田艇庫	16名
5月3日（金）	公認スポーツ指導者義務研修会	滋賀県大津市 瀬田漕艇倶楽部	47名
11月23日（木）	公認スポーツ指導者義務研修会	埼玉県戸田市 戸田公園管理事務所	44名
12月3日（日）	公認スポーツ指導者義務研修会	岩手県盛岡市 上田公民館	9名

■セーフティアドバイザー養成事業

開催日程	事業名称	開催場所	受講者数
11月25日（土）	第1回セーフティアドバイザー 研修会	埼玉県戸田市 戸田公園管理事務所	27名

ジュニア普及事業

開催日程	大会名称	開催場所	参加者数
6月16日(金) ～18日(日)	JOCジュニアオリンピックカップ 第4回全日本ジュニア選手権大会 (兼)世界ジュニア及びアジア ジュニア選手権派遣選手選考会	熊本県菊池市 斑蛇口湖ボート場	116名
8月2日(木) ～5日(日)	第54回全日本高等学校選手権 競漕大会	滋賀県大津市 琵琶湖漕艇場	660名
平成19年 3月24日(土) ～25日(日)	第18回全国高等学校選抜大会	静岡県浜松市 浜松市天竜ボート場	384名